



皆様！おかわりございませんか。正田洋一でございます。



三原市市議会議員

正田洋一 議員レポート

第16号

正田洋一事務所

〒723-0062 三原市本町 2-11-12

TEL 0848-63-0085 E-mail info@shoda-yoichi.jp HP www.shoda-yoichi.jp

いつもご指導ご支援いただきありがとうございます。2期目になって2回目の発行となりました。今号では、3月議会の模様および日々の活動について、また、問題提起していきたい事について自分なりの意見を書かせていただきます。よろしくお願ひします。

正田洋一「日々の絆」

1 NPO 法人うきしろ桜山会のお花見会を開催！



年々本数も大きさも立派になってきています



少しですがお手伝いさせてもらっています

4月8日に、桜山会の花見を開催しました。日々メンバーの整備によって、着々と桜でいっぱいの山になりつつあります。今年も駅周辺から見える景色がとても綺麗でした。お花見会の当日は200人を超える皆様に来場いただき、会で準備した豚汁はあっという間に無くなりました。会の先輩方々、仲間達に感謝です。

2 おひなまつりへの参加！

2月24日、25日、おひな祭りでは、本町イロハの皆様と「うどん屋イロハ亭」を開店しました。また、宗光寺の石段の準備、片付け、明真寺会場の準備、片付けなどにも参加させていただきました。当日はたくさんのお客様に来ていただき、充実した時間でした。また、今後の賑わいつくりの重要な参考資料にするために、お祭りに関するアンケートを取らせていただきました。



1000体の石ひなを並べていきます。 仕上げると本当にキレイでかわいい！

3 浮城塾を卒塾しました（第一期生）

県立広島大学大学院と三原市の連携により誕生した、地域経営人材塾「浮城塾」を卒塾しました。私、サラリーマン時代に大学院で学んだ経験から、「地域課題の解決は高度社会人育成にあり」という考えを持っています。議会の一般質問で2回、県立広島大学大学院MBAと連携した社会人教育を提案させていただきましたが、それを形にさせていただきました。自らも第1期生として参加させていただき、無事、卒塾致しました。三原の企業経営者や起業家を目指す若い人、議員も3名参加があり、相互の学びができました。2期生の募集もありますので、概要がわかりましたら告知させていただきます。



素晴らしい出会いと学びがあった浮城塾

定例議会報告

1. 高坂自然休養村のリニューアルについて



Q:30年度予算で約5000万、付帯の設備整備を合わせて1億2000万円のリニューアルについて聞く。3年前に本件について一般質問を行い、予算計上を取り下げになった経緯があるが、その時と何が変わったのか。

次に、ソーニング（どこに）、ターゲティング（誰を）について聞く。議員全員協議会で、担当課は、「休養村での農業体験を軸に都市からのファミリー層をターゲットに」と説明した。副市長は、「仏通寺を軸にインバウンド観光」と答弁した。斎場整備の特別委員会では、「斎場建設の地域への見返り事業だ」と答えた。これらの答えからわかるように、何を、どこに作って、誰を呼ぶかが、定まっていない。

次に、公共施設マネジメントの視点で、レクリエーション施設は、同様の施設も含めて検討中のはずだが、この施設だけ先に進めたいのはなぜか。億を超えるリニューアルであることを見れば、慎重になるべきでないか。

A:28年ふるさと高坂仏通寺活性化協議会を立ち上げ、2年間の住民協議と実証的な取り組みを踏まえ、地元組織が中心となり、高坂らしいソフト事業に対応できる改修計画をした。また、キャンプ場は類似の施設の競合性を考慮して廃止を予定している。

ソーニング（どこに）については、休養村の北部エリアは、飲食、物販、体験などのレクリエーション、遊歩道を活用した仏通寺との連携を考えている。ターゲティング（誰を）は老若男女全ての人に利用いただける施設となることが理想だが、ソフト事業を積み上げて行きたい。

Q:以前の計画よりスリム化はしたことは悪いと思っていない。しかし、北部のリニューアルについて、ソーニングとターゲティングは出来ていない。ターゲティングが不明確ではないと思わないか？農業体験の市場性は確認したか？県内市町の競合は調べたか？経済効果は試算されたか？答えを求めたい。民間であればこの付近が重要だ。

次に一昨年、中止した案件を、議会も説明もなく再び出してこられた。質問通告して、初めて聞く話が出てきた。斎場建設の見返り事業という話、地域の要望書をうけて、市長名で、リニューアルを約束する文章を出されている。地域の方々との丁寧な話し合いはよいが、地域合意があれば、他の市民への説明は必要ないのか。軽微な修繕でなく、大きな額の予算だ。



A: ソーニング・ターゲティングについては、理想を述べたものである。仏通寺およびその周辺の自然環境、休養村のターゲットやその内容について工夫していく必要がある。農業体験の市場については、全国で378億、広島県7億5千万である。インバウンド観光は、100名程度台湾の観光客をお迎えしている。具体的な経済効果は、示せる段階にない、斎場の見返り事業ではなく、斎場建設が決定する前から検討していた課題であり、地域の合意をしているので、理解をいただきたい。



Q: 市場については、7億5千万のうちいくら三原で獲得出来るのか。そのためにいくら投資するのか。インバウンド観光は、現在の100名を何名に増やして、経済効果を獲得するのか想定出来ているか？

A: 経済効果については、一概には言えないが、三原市全体で、外国人は約3万人、1人あたりの観光消費額は、平均2200円から2300円で推移しており、約6600万円が想定される。本予算については、計画案に時間を要し、議員各位には直前の議員全員協議会での説明となったがご理解をお願いしたい。

まとめ

本件については予算可決となりました。

私のところに市内や高坂の地元の方からも反対意見が寄せられたことを報告しておきます。私は、3年前から2回、一般質問のなかで言及しています。その時は、いったん断念をした案件でしたが、選挙を経て、二期目の現市政において再提案され、今に至ります。私は、高坂地区の活性化は望んでいますが、リニューアルするには、効果的および財政状況に見合った投資、また、市民の皆様に賛同をいただいた上でやるべきで、プロセスの問題があると感じました。しかし、可決したい以上、効果的な取り組みになるように意見していきます。

2. 不燃物処理工場建設に伴う課題について

Q: 不燃物処理工場の予算が計上されている。不燃物処理工場は、三原市と世羅町の組合の広域市町村圏事務組合の議会で審議されるべき課題だが、そこに予算を拠出する三原市として、三原市民の生活に影響のある部分について質問を行う。不燃物処理工場を建て替えることをあまり市民の皆様は知らない。ゴミの収集方法がわかることも知らない。場所が変わること、進入路に問題があることも知らない。建設予算が、突然約23億から30億になったことも知らない。また、消えたアルミ缶問題の解決なくして建て替えるべきではないと意見が組合議会でも出された。どのように考えるか？



A: 予算執行については、組合議会へ丁寧な説明と、しっかり議論し理解を得た上で予算執行をする。収集方法の見直しについては、31年にモデル地区を試行となるように準備するとともに、進入路などの搬入環境の状況も踏まえて、生活環境推進員などを通じて周知に努める。アルミ缶問題については、不燃物処理工場の更新問題とは別問題と考え、現在は、警察で捜査中であり、組合、市としてしっかり対応する。

Q: 再度聞くと、約30億になった事実、場所が変わるという事実、収集方法が変わるという事実を何時までに周知して合意形成をするのか。また、収集方法については、推進員の活用と言われましたが、町内会未加入が4割ある。町内会だけでは足りない。市の職員を派遣して、説明会を行うなど別の工夫もある。また、組合議会の中で、1回、2回のアリバイづくりの議会開催では困る。

A: 市民合意については、いつまでは示せない。4月以降順次やっていく。現在考えている改良については、一定程度浸透するまで丁寧に説明をしていく。収集業者については、現在協議中で、資源化ゴミ混載防止前提に考えているが、効率的な収集運搬経路、運搬経費についても検討を行い、30年度中にとりまとめる。

Q: 消えたアルミ缶問題は、先の組合議会で持て提起された、解決なくして予算執行すべきでないという意見は重く受け止めないのか。再度聞く。

A: 消えたアルミ缶問題は、警察の方で捜査中であり、別問題だと考える。捜査には組合、市としてもしっかり対応する。

まとめ

不燃物処理工場の問題は、以下4つ

- ①収集方法の変更とその合意
- ②建設費用が、23億から30億へ変更されたが、その内容の審査が議会で行われていないこと。
- ③投資の時期の問題（庁舎、東館、消防庁者、斎場）大型事業の目白押しだが、財源の確保と返済計画の妥当性。
- ④消えたアルミ缶問題。

以上問題点を一つ一つ解決すべく努力します。

消えたアルミ缶問題は、別問題と答えています。当初、こういう事件が発生するから建て替えが必要と述べたのは管理者（市長）であり、別問題でないと言ったのは管理者（市長）です。但し、建て替えもしくは修繕等の課題は、この事件に関係なくやらなくてはならない課題だと認識しています。

〇さぎしまデーサービスセンターの存続について

前号で報告をお約束しておりました本件につきましては、4月1日から新たな指定管理者が決まりましたのでご報告致します。当該施設については、公共施設マネジメントにおいては、利用状況や民間施設を含めた周辺の配置状況、要介護者数の動向を踏まえ、市の施設として維持することの必要性を検討となっておりますが、当面継続となりました。多くの議員から委員会等で存続すべきであるとの意見が出されました。

しかし、やむおえない状況ですが、市の負担という意味でのコストは、大きく増大すると結果となりましたが、離島の特殊性および高齢化社会におけるセーフティネットという意味でご理解をお願いしたいと思います。

〇水道料金の値上げについて

本件も前項で報告を約束しておりました。6月から値上げをお願いすることとなりました。

水道料金については、過去から値上げをお願いすることを先送りしており、もう経営的に限界というのが現状です。水道会計については、独立採算を求められておりますが、放漫経営や職員の怠慢ではなく、合併に伴う整備面積の拡大、人口減少、節水技術の向上など様々な社会変化の複合によるものです。

今回の値上げによって、2050年以降までの財政計画が試算されています。今後、更なる値上げをお願いしなくてよいように、収入と修繕（投資）のバランスをチェックするべきと考えております。

補足ですが、私は、既に3年前の総括質問で水道代の値上げについて質問をしています。2年前には岡本議員が質問をしています。そのとき既に、値上げのお願いは、喫緊の課題であったはずですが、選挙前だったこともあり、適切に判断するというので先送りされた経緯があります。これ以上先送りすれば、更なる大きな値上げをお願いしなくてはなりません。過去、市長も議員も苦いことは言わない、お願いしないで、先送りしてきた結果だと思っています。大変申し訳ありませんが、この度は、ご理解をお願い致します。

ココに注目！

Yoichi column

こだわりをいわせてください！

私個人の思いをここに書かせていただきます。
是非ご意見、ご指導ください。

○築城 450 年事業は大成功に終わったのか？

12月15日築城450年事業の検証状況と今後の方向性についての説明がありました。

ここでの説明では、官民一体となって観光推進事業を実施し、成功裏に終わったと報告を受けました。また、この時点では29年度は終わっていませんが、**観光消費額 100 億円、観光客数 450 万人は、達成できる見込み**と報告されました。

私の印象では、地元の飲食店の方からも少しでも売り上げが伸びたとか、お客様が増えたという話を聞きません。しかし、ボランティアガイドさんたちとまちを歩く観光の方の姿をよく見るとも聞きます。何が伸びているのか、何がうけているのかも検証しなくてはなりません。正直なところ、市長、副市長はじめ市の幹部が一斉に大成功と自画自賛されるのには抵抗感があります。私の見解ですが、私がいいと思う部分は、**市民活動団体などが増え市民の意識向上したこと、三原の歴史・文化の継承者が増えたこと**などだと思っています。

次に私がした指摘（要望含）について以下に書きます。

①成功部分と課題部分を整理して示して欲しい。課題はインバウンド観光だと述べたが、それだけではない。市民の印象なども含めて、検証して、今後に生かすべきである。

一例として、やっさ祭りの際の Disney パレードの件、市の答弁では、やっさ祭りへお客様を引き込むためだと答弁したが、やっさ祭りは、やっさ踊りをみせることが一番であり、個性であり、それを中心に考えていくべきである。こういうことをみんなで考えて、意見をふつけあうことが、真のフラッシュアップだと述べました。

②フラッシュアップ経費と称して、増額されたさつき祭り、やっさ祭り、浮城祭り、神明市、沼田本郷祭り、久井さわやか高原祭りの予算増額分について、補助金のあり方も指摘しました。「何を」、「どのように」来ていただいた方にみせるのか？一定の基準をもうけ、補助金増額だけのお金の垂れ流しにならないように取り組むべきと指摘しました。

また、三原市が課題とした、訪日外国人を増やす「インバウンド観光」については、すでに政府や民間企業の資料では「インバウンド観光消費」というキーワードに変化しています。すなわち集客だけではなく、消費を獲得するという視点に変わっており、市の認識は、消費を獲得するという視点が不足しています。築城450年事業については、様々な思いや意見があると思います。課題を発見し、解決してこそ451年以降につながると認識しています。今後も提案していきますので皆様のご意見をお寄せください。





○市民の皆様からいただいた声を掲載します

葉書にメッセージをいただいたもの、メールで送っていただいたものを掲載します。

ご意見の反映とともにいただいた課題の解決に取り組みます。

感想をいただいたもの、厳しいご意見、問題提起について、掲載させていただきます。

- ・ やっさ祭りにディズニーは必要ないと思います。450年事業としてうけたならば今年限りにしてほしい。
- ・ 図書館が老朽化したからといって駅前東館跡地にもってくるのは、将来の展望に疑問を感じます。
- ・ 不燃物処理工場の問題は、疑惑解明に至っていません。問題は市長が解明しようとする姿勢が伝わってこないことです。
- ・ セニヤカー（電動車椅子）にて高速艇に乗船できますようお願いいたします。フェリーでは時間帯が間に合わない。
- ・ 議会の体制はどうであれ政策論争での市民の共感を教えてください。
- ・ 築城450年より、451年、452年が大事です。未来の三原が見えておりません。全く情けない。
- ・ 駅前広場がなくなるとお祭りもできなくなるということを考えていますか？
- ・ アルミ缶問題を解決しないまま、不燃物処理工場を建て替えるのではなく、問題を解決するのが先ではないか。しっかり問題解決をしてください。
- ・ アルミ缶問題について、市長としての責任はないのかそこをなぜ追及しないのか。
- ・ 市の予算が厳しいこの時代に、市役所、図書館、不燃物処理工場などやりくりを考えていないのではないか。
- ・ 図書館の跡地は、どうするのか市民に説明してください。
- ・ 駅前広場に代わるイベントの場所を考えて取り組んでください。
- ・ 三原港を生かしたまちづくりを考えてください。
- ・ 久井地域の活性化について、考えてください。
- ・ 少数派でやっていくことは感心します。ともしんどいことです。相手のよい面を認めて、悪い面は、納得させる知能が必要です、じっくり構えて頑張ってください。
- ・ 政務調査費の使い道を明らかにしてください。
- ・ 出張で議会報告会をやらしてもらえませんか。
- ・ 貴殿なりの考えを述べられており頼もしい限りです。しかし、最終的には多数決で実施されることになり、1人で頑張ってもどうにもならない。少人数の会派がたくさんありますが是々非々で議決されると思います。頑張ってください。
- ・ 信念を曲げず、努力を惜しまず頑張ってください。
- ・ 不燃物の処理工場の問題の真相究明に積極的でない議員が多いのに疑問を持ちます。
- ・ 久井地区の斎場移転をめくり、市長から全く説明が無く問題だと思えます。

そのほかたくさんのご指導、激励をいただきました。全部で60通以上凄く励みになりました。ご意見ありがとうございました。引き続きよろしく申し上げます。

私の一般質問は市民の皆様の声から作成しております。課題解決にむけて一つ一つ積み重ねていきます。

編集後記

今号も文字満載となってしまいましたがお許しください。まだまだ報告したいことがたくさんあります。今年度は、後援会報告会も実施します。出前報告会も実施しますのでお気軽にお声かけください。日々実践、足りないことばかりですが、今後ともご指導ご支援よろしく申し上げます。